



# 千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第13号

令和4年11月25日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

## ◆大きな行事、進路選択の時期にあたって◆

校長 山口 鉄也

ゆく秋を惜しむかのように、落ち葉が風に舞っています。11月は貝塚祭、1年生の校外学習といった学校にとって大きな行事があり、生徒たちが素晴らしい活躍を見せ、それぞれ無事に終えることができました。新型コロナ禍の中、対策を講じながらここまで無事に教育活動を展開できていますのも、各家庭のご協力と生徒一人一人の自覚の賜物と改めて感謝申し上げます。引き続き、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

特に貝塚祭は、千葉県文化会館にて全校生徒で実施することができました。今年度になり、3つの学年が同じ空間で、ともに過ごせる初めての行事となりました。どのクラスも素晴らしかったですが、学年が上がるにつれて成長していく様子が歌を通じて感じられ、審査員の先生からは、「校内の合唱のレベルを超えている。」という評価もいただくことができました。演劇部の演目も、ユーモアあり、深く考える内容ありの3年生が引退していることを感じさせない、素晴らしい内容だったと思います。

さて、いよいよ進路選択の大事な時期になってまいりました。三者面談を実施している3年生の各教室は、遅くまで明かりがついていました。その窓の明かりを見ながら、思い浮かべたことを述べてみます。

将来の見通しや意欲の乏しい進路選択においては、やがて中途退学、進路変更などの問題を抱えるのではないかと危惧の念を感じます。なお、ペーパーテストによる学力のみを身に付ければ、あいさつや言葉遣いなどの礼儀、および、身だしなみや立ち振舞いなどの良識は、おろそかにしても支障がないものと誤った判断をする生徒も現れてきます。

そこで、何を伸ばしたいか、生きていく上で何が大切なのかなどについて、親子で十分に話し合うことが重要であると思います。また、生徒自身が自己理解(興味・関心、能力、適性など)に基づいて、「何のために、何を求めて・・・」を考え、主体的に進路を選択することができるように、私たち大人は助言と支援に徹するべきだと考えます。期待過剰・知育偏重・不適応などの渦中に巻き込むことのないような対応に心掛けたいものです。



冷たい風の中、面談後に親子で肩を並べて、学校を後にする姿はとても微笑ましく思います。今後の生徒の頑張りと共に来春、希望に満ちた卒業を迎えることができるよう、期待しています。

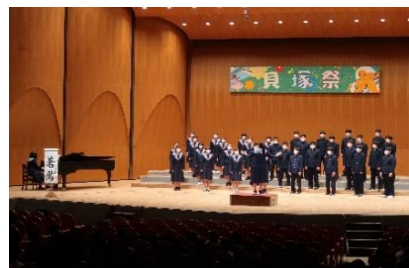
## ◆貝塚祭 フォトアルバム◆



1年3組「大切なもの」



2年3組「親知らず子知らず」



3年3組「蒼鷺」



演劇部「体育祭予行！」



本番前の声出し



3年生全員での円陣



ランチタイム



成績発表の瞬間



各種表彰学年学級&個人賞



最優秀賞 3年3組

## ◆先生方も日々勉強です◆

令和2年度、学習指導要領が全面実施となりました。学習指導要領とは、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準で、およそ10年に1度、改訂されています。生徒の教科書や時間割は、これを基に作られています。

これを受けて、学校の授業でも主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善しています。

本校では、11月に入ってから各教科で、教育委員会の指導主事を招いての授業研究を行い、わかる授業の実現に向けて取り組んでいます。生徒も人に見られる授業にも慣れてきたようで、落ち着いた取組ができています。

## ◆欠席等のすぐーる連絡についてのお願い◆

最近、生徒が登校しておらず、保護者からの連絡がないことにより、生徒の所在確認ができずに困っている状況があります。欠席や遅刻・早退をする場合は、保護者が8時までにはすぐーるで連絡をしてください。すぐーるの内容については、当日入力分を朝の段階で確認しております。前日入力した分については確認できないことがあります。また、部活動チャンネルに間違えて入力をしたということも過去にはありましたのでご注意ください。

確実な出欠状況及び安全の確認のため、8時までのすぐーる連絡を確実にお願いします。